

健康  
と  
医療

健康と医療についてゲストに語っていただくコラムです。

# いきいきゼミナール



テーマ 北海道の花粉症と、花粉—食物アレルギー症候群(PFAS)  
ゲスト 医療法人社団 大道内科・呼吸器科クリニック 北田 順也 副院長

## 北海道の花粉症について 教えてください

北海道の花粉症は、4月中旬～5月下旬がピークの季節です。本州に多いスギ花粉はわずかで、ハンノキ、シラカバなどカバノキ科の花粉症が主体です。その頃にはしつこい鼻水や鼻づまり、くしゃみ、目のかゆみなどの花粉症の症状とともに、せきが長く続いて来院される患者さんが増えてきます。同

時にぜんそく患者さんの中にもせきや、息を吐く時に「ゼイゼイ」「ヒューヒュー」という音がする喘鳴(ぜんめい)が出現したり、鼻炎の症状を伴う患者さんが多くなります。鼻と気管支は空気の通り道として一つにつながっているため、花粉症の悪化の程度とぜんそく症状は密接に関連しているのです。

また、近年は花粉症の人が、果物や生野菜、豆類のアレルギーになる「花粉—食物アレルギー症候

群(PFAS)」が増えています。

## 花粉—食物アレルギー症候群とは、どのような病気ですか

花粉症を引き起こす花粉のアレルゲンの一部のたんぱく質は、果物や野菜に含まれるたんぱく質と形が似ています。このため、体に入ったときに区別できず、果物や野菜を食べた時にもアレルギー反応を起こしてしまうのです。これを

交差反応といいます。PFASでは、唇が腫れる、口の中や喉がイガイガするなどの症状が出ます。口や喉に限った症状が多く、重症化するのはいずれですが、重篤な状態に陥る場合もあるので注意が必要です。

花粉症の種類によって、アレルギーを起こしやすい果物・野菜は異なります。カバノキ科の花粉症の患者さんは、リンゴやモモ、サクランボなどバラ科の果物のアレルギーを持っていることが多いです。そのほか、同様のアレルギー症状が出る食物には、キウイやイチゴ、豆乳や大豆、ナッツ類、ニンジン、セロリ、ジャガイモなどがあり

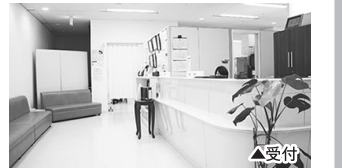
ます。

対処法としては、原因となる食物を食べないことが基本です。アレルギー症状が出ている時は、抗ヒスタミン薬を処方するのが一般的です。

花粉症の症状に加え、発熱やレントゲンでの異常がないのにせきが長く続いている場合や、特定の果物を食べた時に何らかの不快な症状が出る場合は、呼吸機能検査や血液検査などでアレルギー素因を持っていないか、ぜんそくを発症していないかを調べてみるとよいでしょう。原因を特定し、それに合った治療を受けることが大切です。

## 病院訪問 医療法人社団 大道内科・呼吸器科クリニック

喘息(ぜんそく)、肺炎、サルコイドーシス、肺気腫、花粉症などのアレルギー性疾患などの呼吸器疾患を専門とするクリニック。風邪、せき、たん、他の内科、特定疾患にも対応しています。ヘリカルCTや気管支鏡検査など、呼吸器専門の設備があります。



住所／札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル3階  
電話番号／011-233-8111  
診察受付／月・火・木 金曜  
9:00～12:30 14:00～18:00  
水・土曜 9:00～12:30  
※新規の患者さんの受付は午前11時30分まで、午後は17時まで。  
※土曜完全予約制(ただし、原則として予約優先とはなりません。直接で来院頂いた場合も診療受付致します。)  
休診日／日曜・祝日  
<https://www.ohmichi.or.jp/index.php>

院長/大道光秀 副院長/北田順也 医師/新沼ゆかり